

《課題名》 低管電圧 CT during hepatic arteriography、CT during arterial portography による肝細胞癌の検出能に関する検討

《研究対象者》

2017年12月より2019年9月までに滋賀医科大学附属病院放射線科において「肝細胞癌」に対して肝動脈化学塞栓療法(カテーテル治療)を受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：低管電圧 CT during hepatic arteriography、CT during arterial portography による肝細胞癌の検出能に関する検討

研究期間： 承認日（2019年2月19日）～2021年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》放射線医学講座 《氏名》新田哲久

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

低管電圧で造影剤を減量して撮影した肝動脈造影下 CT (CTHA)と門脈造影下 CT(CTAP)と従来の CTHA と CTAP を比較して、診断能が同等であることを確認することです。診断能が同等であると証明されれば、造影剤を減量した体に負担の少ない治療に貢献できると思われれます。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

・研究の内容

2017年12月から2019年9月30日までに滋賀医科大学で肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓術を受けられた患者さんのCT画像データを解析し、低管電圧CTHA/CTAPの有効性を確認します。

・利用する試料や情報等の項目

診療記録、血液検査結果、CT、MRI画像を使用します。

診療で得た資料以外に新たな資料を取得することはありません。

診療記録：年齢、性別、体重

血液検査所見：血球検査、肝機能検査、腎機能検査、腫瘍マーカー(AFP、PIVKA-II)

CT、MRI画像：CTHA、CTAP(カテーテル検査時に撮影したCT)、造影剤を使用して撮影したCT、MRI

これらの情報は特定の個人を識別できないように匿名化され、解析されます。

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、(2021年3月31日までに) 下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 放射線医学講座 新田哲久

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2536

メールアドレス： r34nitta@belle.shiga-med.ac.jp